

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成21年9月8日

施設名	高知県立香北青少年の家	所管課名	教育委員会生涯学習課
-----	-------------	------	------------

## 1施設の概要

指定管理者名	(株)香北ふるさと公社
指定期間	平成18年4月1日～21年3月31日 平成21年4月1日～24年3月31日
施設所在地	香美市香北町吉野1300
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用の許可に関すること</li> <li>・施設及び設備の維持管理に関すること</li> <li>・食事の提供及び宿泊に関すること</li> <li>・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること</li> <li>・主催事業を計画し、実施すること</li> </ul> <p>&lt;平成20年度主催事業&gt; 夏休み、親子クラフトづくり体験(応募がなく中止) 地域子ども交流会(1泊2日) 子どもフェスティバル いきいき合衆国で遊ぼう(1泊2日) クリスマスリース作り体験 日帰りだよ!親子忍者大会体験 門松づくり体験 親子でアンパンマンミュージアムを楽しもう!(応募がなく中止) やきものづくり 子どもフェスティバル 忍者大会(1泊2日) 全8回 青年リーダー研修(前期・後期)</p>
施設内容	<p>青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健全な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営している。</p> <p>構造:本館 鉄筋コンクリート2階 延べ1,002.65㎡ 別館 鉄筋コンクリート平屋 延べ295㎡ 研修棟 鉄筋平屋 延べ300.16㎡</p> <p>施設概要: 研修室 3室(定員20名,80名,120名) 宿泊室 定員121名 浴室3室 野外炊飯場 3箇所 定員300名 ランニングコース 1コース 1.7km オリエンテーリングコース 1コース 10km ウォークラリーコース 2コース 5km</p>
職員体制	職員:所長1名 事務員1名 指導員4名 調理員4名 合計10名

## 2収支の状況

単位:円

		19年度(決算)	20年度(決算)	21年度(予算)
収入	県支出金	34,184,000	34,184,000	35,437,000
	事業費収入	674,720	950,150	1,266,000
	使用料	2,754,980	2,250,310	2,785,000
	収入計 (a)	37,613,700	37,384,460	39,488,000
支出	事業費	1,109,392	998,090	1,323,000
	管理運営費	11,389,870	10,212,317	9,092,000
	人件費	20,699,547	22,250,700	24,541,000
	消費税	1,659,911	1,673,043	1,747,000
	支出計 (b)	34,858,720	35,134,150	36,703,000

### 3 利用実績

#### (1) 宿泊者数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平均
人数	8,633	9,398	9,234	8,429	7,068	8,552

#### (2) 利用団体数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平均
団体数	213	208	214	168	177	196

#### (3) 利用者数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平均
人数	18,035	19,160	17,235	16,757	15,823	17,402

### 4 業務の評価

項目	状況説明
① 利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人気事業である小学校4年生からを対象とした忍者大会へのPRも兼ねて、小学校低学年を対象とした日帰りの体験事業を実施し、将来の利用者の開拓を行っている。</li> <li>○ホームページのトップに忍者大会のPRをのせ、施設案内・活動プログラム・利用料金等をわかりやすく掲載し、閲覧数を伸ばした。また、新たにパンフレットを作成し、各小中学校に送付した。</li> <li>○主催事業である「忍者大会」後のフォローアップとして、参加者・保護者の方(553名)に、ふりかえりの言葉及び今後の利用についてのお願いの手紙を添えて、写真を送付している。</li> <li>○利用者に次回も利用したいと思っていただくために、“誰からも好感のもてる対応” “利用者への細かな目配り・気配り・手配り” “笑顔・テキパキ・誠実・スマートに・臨機応変に・勉強” をモットーに職員全員で取り組んでいる。</li> <li>○地域の団体やボランティア団体に事業に協力していただくなど、連携・融合を図る取り組みを行っている。</li> </ul>
② 利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○宿泊訓練では、利用者が「何を目的として」「何を求めているのか」を確認し、学校教員と施設指導員の役割分担や、どこまで指導員が指導するのか事前打ち合わせを2～3時間行っている。</li> <li>○食事に関しては地元の新鮮・安全な食材を使用し、利用団体(特にスポーツ団体の合宿)の要望に沿った食事メニューを提供している。</li> <li>○部屋の割り振り、入浴時間の調整、食事メニューや時間の変更など利用者の年齢や性別に応じて希望に添うことができるよう配慮を行っている。障害者や高齢者が宿泊する際には、バリアフリー化されている別館を貸し切りで使用できるよう配慮した。</li> <li>○利用者の要望に合ったプログラムを提供できるように、資質・指導力の向上を目指した研修(アドベンチャープログラム等)に職員を参加させている。</li> </ul>
③ 施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全の確保を第一として青少年の宿泊・食事・研修・野外活動等を行っている。</li> <li>○ピーニング(自分たちが安心できる職場にするために自分ができること、されると嫌だなと思うことなどを書き出してもらおう)を行い、お互いを認め合うという職場環境づくりに取り組んでいる。</li> <li>○衛生面の管理については、清掃チェック表への記載、利用者への手洗い指導等に徹底的に注意を払い取り組んでいる。</li> </ul>

④利用実績	○平成19年度と比較して、利用団体数は9団体増加したが、宿泊者数は1,361人、利用者数は934人減少している。1団体あたりの利用人数が減少したが、利用団体数は増加した。また、日帰りでの利用が増えたため、宿泊者数の減となっている。
⑤収支の状況	○平成19年度と比較して、使用料収入は505千円の減収となった。これは、宿泊者数が減少したことが大きな理由と考えられる。 (宿泊料参考 中学生以下230円、青少年25歳未満400円、青少年以外790円) また、管理代行料については、修繕やパンフレットの作成等により予算額34,184,000円全額を支出した。
総合評価	<p style="text-align: center;">A</p> <p>今後とも、現在の高いレベルを保ち施設の運営に取り組んでもらいたい。特に、以下のことが高く評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設運営の目的や取組をわかりやすく職員間に徹底している。</li> <li>・利用者と日程調整を行う中で、休館日を17日開館することにより、利用者の要望に柔軟に対応した。</li> <li>・主催事業(日帰りの物づくり事業)を開催する際は、アイスブレイク(初対面の硬さを揉みほぐすために軽い動きの伴ったゲーム)やカレー作りを取り入れ、知らない子どもたち同士の交流を活発化させる取り組みを行っている。</li> <li>・学校との連携や施設のアピールを兼ねて、地元中学校のPTA行事で「親子忍者大会」の体験を行った。</li> <li>・高知工科大学生の協力を得て平成21年度新規事業の「なぞの生物、しばてん保護プロジェクト!」と称し、物部川を活用した環境教育プログラムの開発を行った。</li> <li>・ボランティアスタッフの積極的な呼びかけを行い、新規登録者を15名確保した。また、青少年リーダー研修を行い、ボランティアスタッフの資質・指導力の向上に取り組み、独自にボランティアの育成に努めている。</li> </ul>

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
  - B: おおむね仕様書の内容とおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
  - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
  - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの